

周辺機器接続方法

初 版:平成18年6月9日発行



目次

1. パソコンとOSについて	p.3
2. 最も基本的な接続方法	p.4
(1)全体図(ノートPC)	p.5
(2)全体図(デスクトップPC)	p.6
(3)周波数調整器背面	p.7
(4)パソコンのつなぎ方(ノートPC)	p.8
(5)パソコンのつなぎ方(デスクトップPC)	p.9
(6)マイク付ヘッドセットのつなぎ方	p.10
(7)振動子のつなぎ方	p.11
(8)電源について	p.11
3. 専用5ボタンキーボード接続時の注意	p.12
4. USBコネクタについて	p.12
5. 応用例Ⅰ マイク付ヘッドセットを2つ使用する場合の接続方法	p.13
6. 応用例Ⅱ マイク付ヘッドセットとスピーカーを使用する場合の接続方法	p.14
7. PC-232Sプラグアダプタの使用例	p.15
8. 周辺機器接続後の設定について	p.16
9. 音量調整の方法について	p.17
10. USBドライバ更新時のエラーについて	p.19

1. パソコンとOSについて

- ①『花鼓Ⅱ』および『花鼓Ⅲ』はMicrosoft®Windows®にのみ対応しております。その他のOSでは動作いたしませんので、ご注意ください。
- ②『花鼓Ⅲ』をご利用の際には、次の点をご確認下さい。
 - 1)OSはWindows®2000またはWindows®XPのご使用をお奨めします。
 - 2)メモリは512MB以上のご使用をお奨めします。
- ③『花鼓Ⅱ』をご利用の際には、次の点をご確認下さい。
 - 1)OSはWindows®2000、Windows®XPに加え、Windows®98、Windows®98SE、Windows®MEをご使用いただくことができます。

(注)Windows®98、Windows®98SE、Windows®MEの各OSについては2006年7月を以ってメーカー(Microsoft®)による保守・サポートが中止されますので、予めご承知おき下さい。

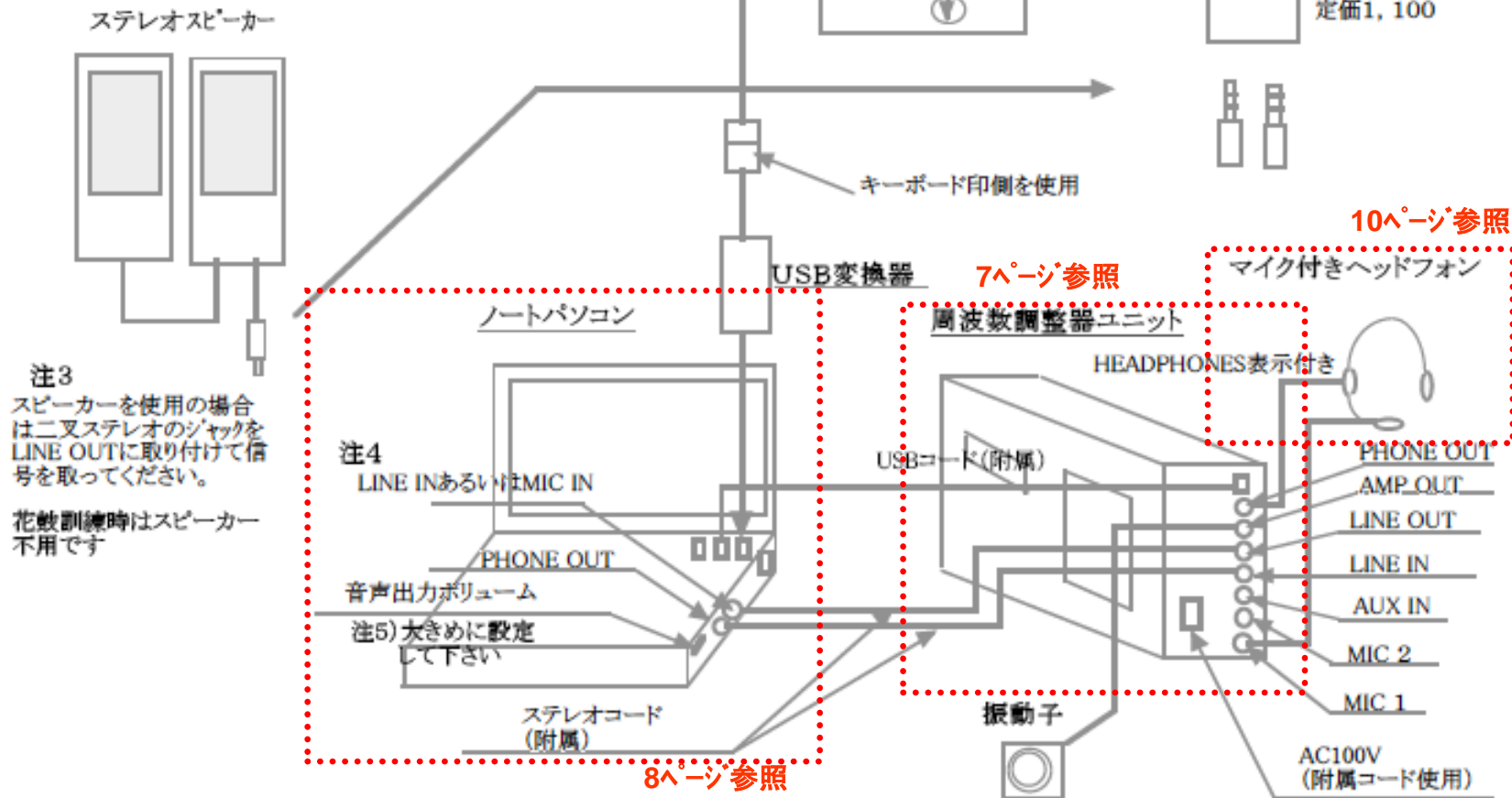
2. 最も基本的な接続方法

パソコン	使用ケーブル	周波数調整器	使用ケーブル	その他の機器等
USB	USBケーブル(白)	USB		
		PHONE-OUT	ヘッドセット直結 (ヘッドホンマーク)	マイク付ヘッドセット
		AMP-OUT	振動子直結	振動子
LINE-IN (MIC-IN)	オーディオケーブル (黒)	LINE-OUT		
PHONE-OUT (LINE-OUT)	オーディオケーブル (黒)	LINE-IN		
		AUX-IN		
		MIC1-IN	ヘッドセット直結 (マイクマーク)	マイク付ヘッドセット
		MIC2-IN		
		AC100V	電源コード(灰色)	コンセント

(1)全体図(ノートPC)

ノートパソコンと周波数調整器ユニットの接続方法

- 注1 ノートパソコンと周波数調整器ユニットの接続は花鼓に付属されている接続コードを使用して下さい。
- 注2 花鼓ソフトはハードデスクへインストール済みです。花鼓CD-ROMソフトのCD-ROMトレイへの挿入は不要です。
- 注4 タスクバーのスピーカーアイコン「ボリュームコントロールを開く」のオプションプロパティ→録音を開いてください。次にLINE IN接続の場合はLINEを選択、MIC IN接続の場合はMICを選択してください

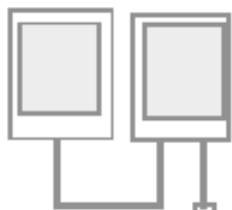


(2)全体図(デスクトップPC)

デスクトップパソコンと周波数調整器ユニットの接続方法

『周波数調整器ユニットのLINE IN、LINE OUT』と『パソコン背面のLINE OUT、LINE IN』を接続する場合、お手持ちのパソコンの使用手引き書をお読みになって、花紋に付属されている接続コードを使用して下記のように接続ください。

※LINE OUTへ接続するとスピーカーから生の音が出ます。周波数調整器ユニットのLINE OUT/PHONE OUTに接続するとフィルターがかかった音が出ます。

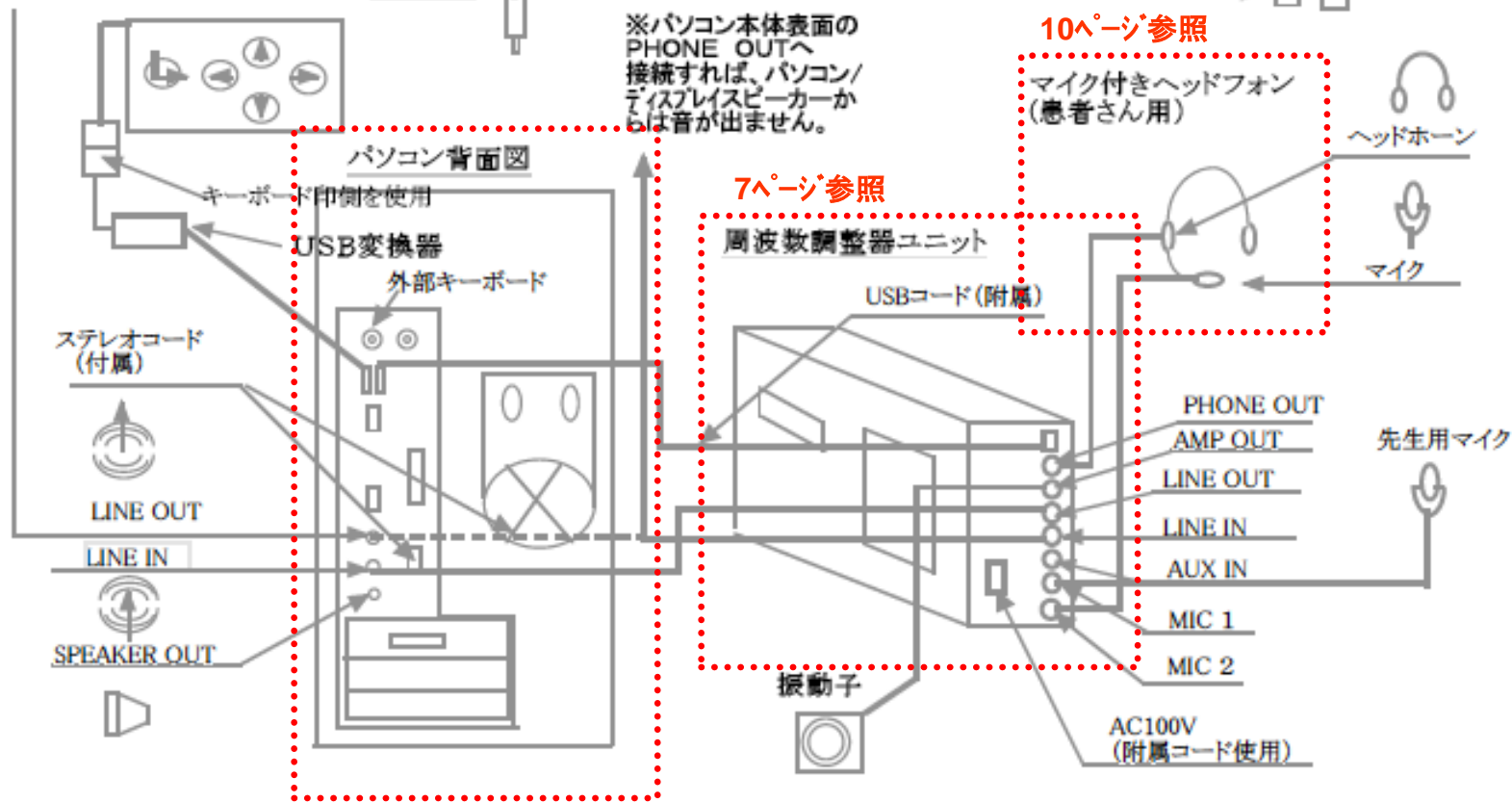


ステレオスピーカー(別途購入)

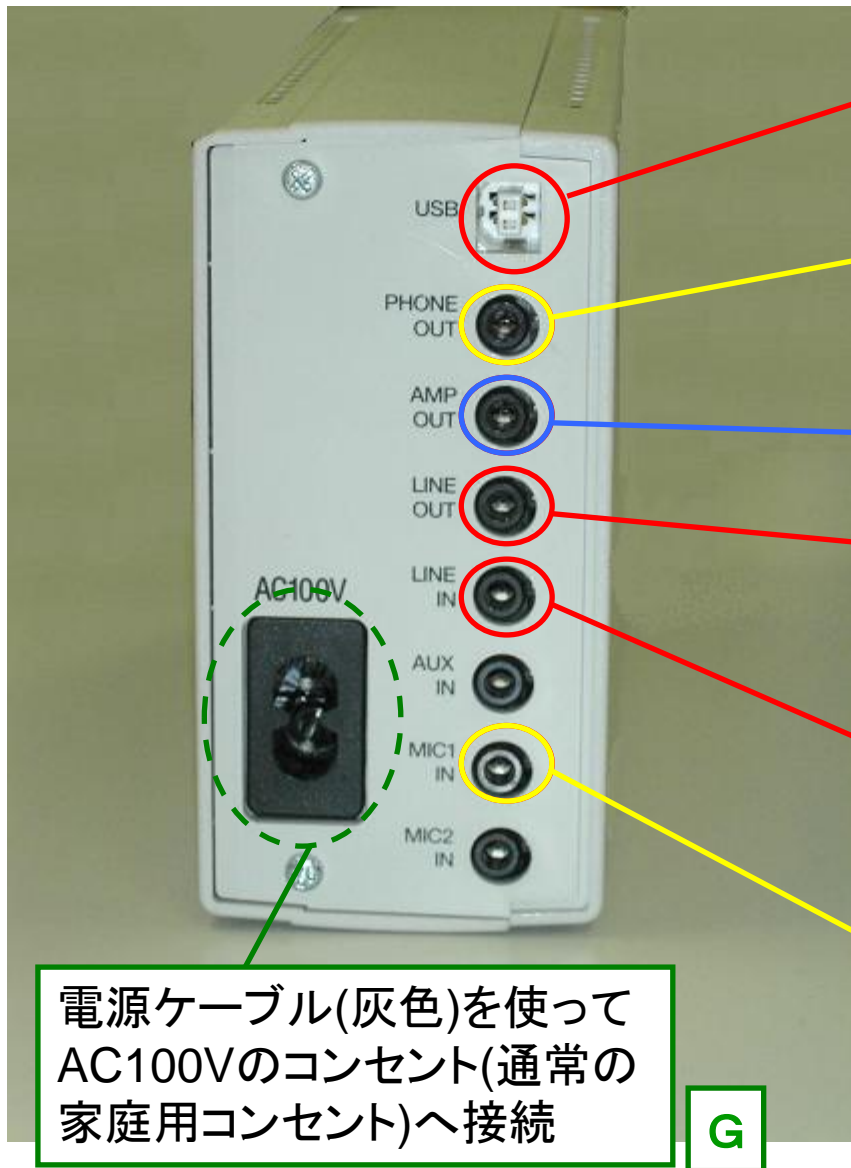
注) スピーカーを使用の場合は二又ステレオのジャックをLINE OUTに取り付けて信号を取ってください。



二又ステレオジャック
SONY製推奨
PC-232C
定価1,100



(3)周波数調整背面



USBケーブル(白)を使って
PCのUSBコネクタへ接続 **A**

マイク付ヘッドセットの
『ヘッドホンマーク』付プラグを挿入 **B**

振動子のプラグを挿入 **C**

オーディオケーブル(黒)を
使ってPCのLINE-INまたは
MIC-INコネクタへ接続 **D**

オーディオケーブル(黒)を
使ってPCのPHONE-OUT
またはLINE-OUTコネクタ
へ接続 **E**

マイク付ヘッドセットの『マ
イクマーク』付プラグを挿
入 **F**

電源ケーブル(灰色)を使って
AC100Vのコンセント(通常の
家庭用コンセント)へ接続 **G**

(4)パソコンのつなぎ方(ノートPC)

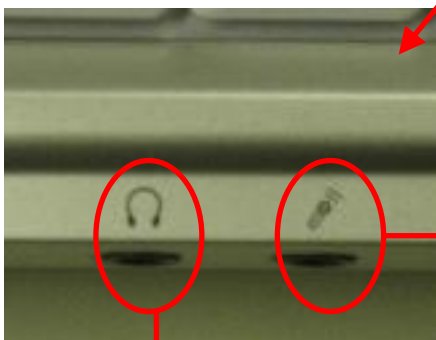
*機種によってコネクタの位置等が異なります。本図に掲載のシンボルマークを参考に、お使いのパソコンのコネクタをご確認下さい。



A

USBケーブル(白)を使って周波数調整器のUSBコネクタへ接続

注)どのコネクタでも同じように使用できます。(別途ドライバの更新作業が必要です。)



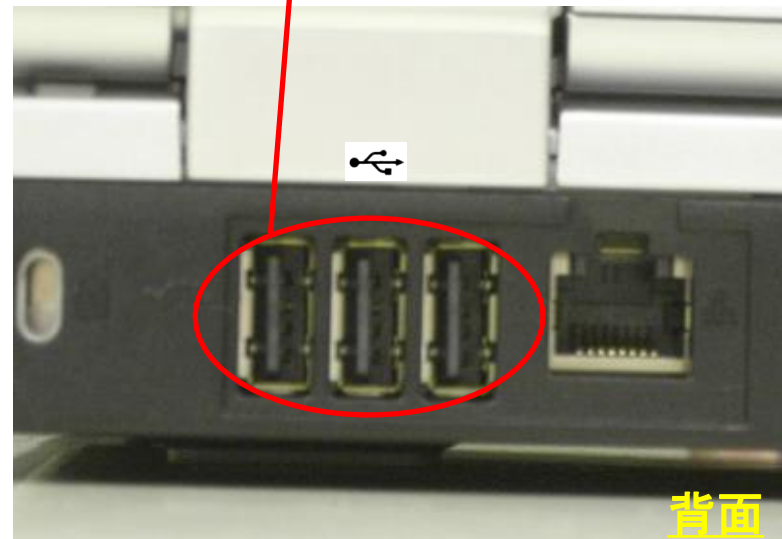
D

オーディオケーブル(黒)を使って周波数調整器のLINE-OUTコネクタへ接続

注)写真のPCではLINE-INとMIC-INのコネクタが共用となっています。(PCの設定で切替をします。詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書をご確認下さい。)

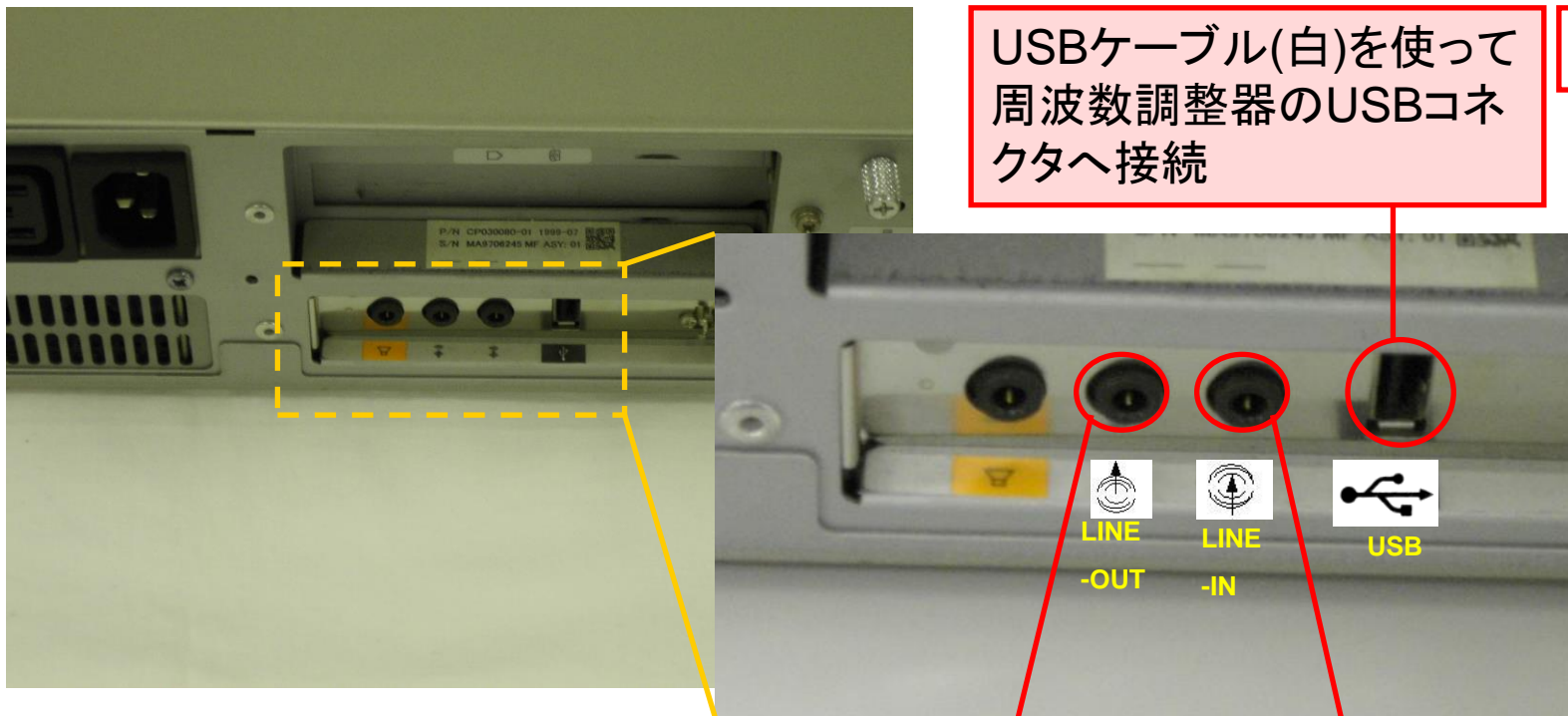
オーディオケーブル(黒)を使って周波数調整器のLINE-INコネクタへ接続

E



(5)パソコンのつなぎ方(デスクトップPC)

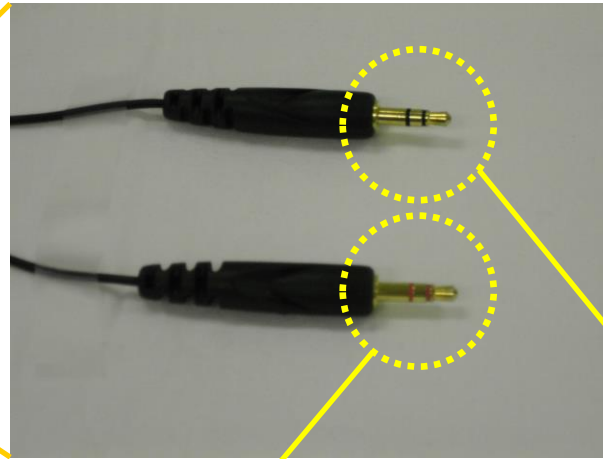
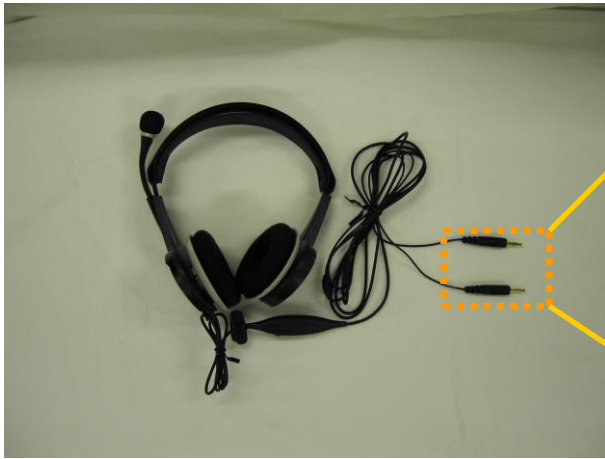
*機種によってコネクタの位置等が異なります。本図に掲載のシンボルマークを参考に、お使いのパソコンのコネクタをご確認下さい。



※デスクトップPCをご使用の場合の注意点

- ①周波数調整器のLINE-INコネクタとPCとをつなぐケーブルは、PC側ではLINE-OUTコネクタへ差し込んでいただくと、外部スピーカーからも音声がかかります。(通常のストレートな音声です。)
- ②外部スピーカーから出る音声は訓練の妨げとなる場合には、外部スピーカーの音量を絞って下さい。
- ③外部スピーカーからもフィルタを通した音声(不連続帯域や低周波帯域)が聞こえるようにしたい場合には、後述14～15ページの応用例Ⅱをご参照下さい。

(6)マイク付ヘッドセットのつなぎ方



F

周波数調整器の『MIC1 IN』ジャックへ挿入

* マイクのマーク及びプラグ部の2本の朱色帯が目印です。

B

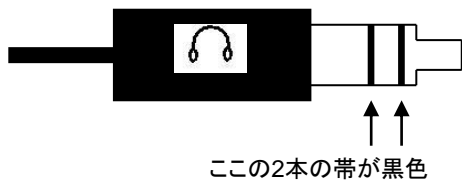
周波数調整器の『PHONE OUT』ジャックへ挿入

* ヘッドホンのマーク及びプラグ部の2本の黒色帯が目印です。

マイク付ヘッドセットの2つのプラグについて

マイク付ヘッドセットには良く似た形状の2つのプラグがついています。両者は全く異なった働きをしますので、下記を参考に正しく接続して下さい。

1)ヘッドホンプラグ



左の図のように、ヘッドホンのマークがついています。またプラグ部に黒色の帯が入っています。

2)マイクプラグ

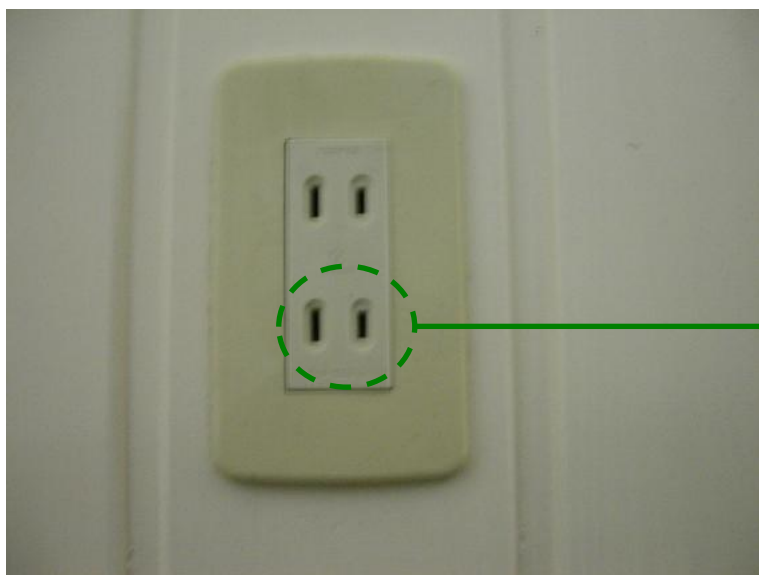
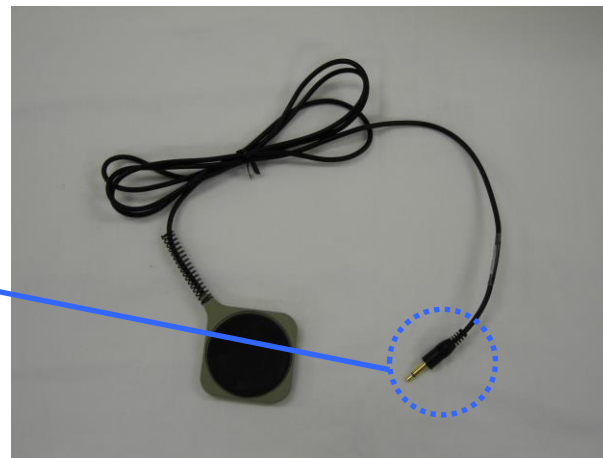


左の図のように、マイクのマークがついています。またプラグ部に朱色の帯が入っています。

(7)振動子のつなぎ方

C

周波数調整器の『AMP
OUT』ジャックへ挿入



電源はAC(交流)100Vをご使用下さい。(通常の家庭用コンセントでしたら問題なく使えます。)

G

(8)電源について

本システムのご使用には、AC100Vの電源が2つ以上必要となります。(デスクトップPCなど一部のパソコンではパソコン用の電源を複数必要とするものもあります。)

- ①パソコン用の電源(AC100V)
- ②周波数調整器用の電源(AC100V)

3. 専用5ボタンキーボード接続時の注意

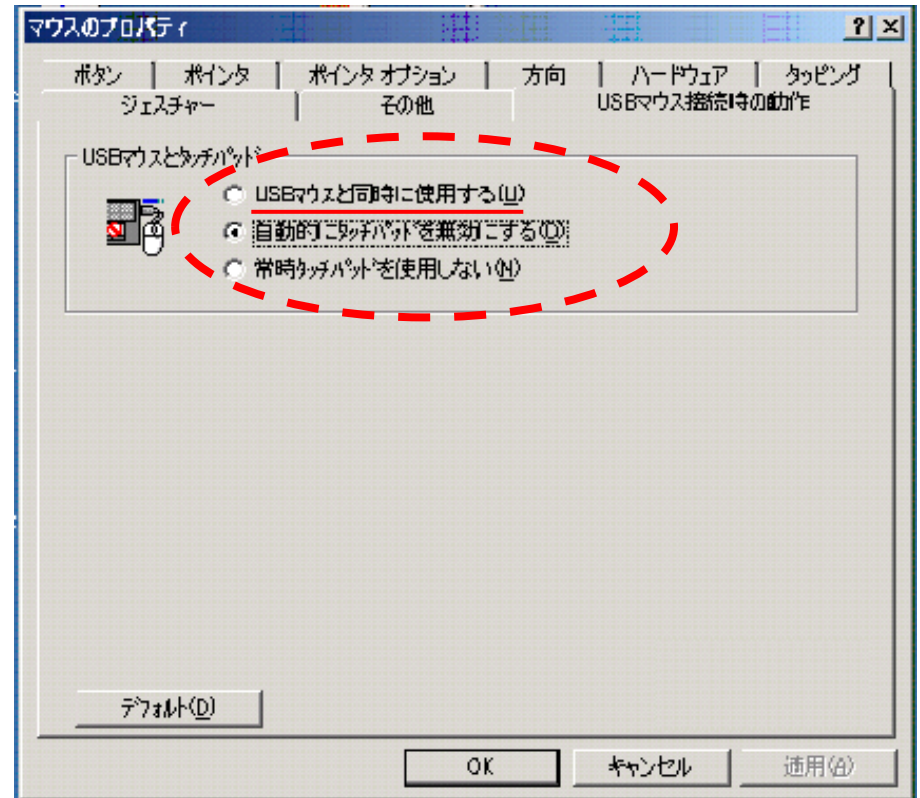
①一部のノートPCでは、添付の5ボタンキーボードを接続した時にフラットポイントが使用できなくなる設定で出荷されています。

②この場合、以下の方法で設定を変更していただきますと、フラットポイントが使用できます。

1)[コントロールパネル]→[マウス]の順にクリックし、「マウスのプロパティ」を表示させて下さい。

2)「USBマウス接続時の動作」タブをクリックし、「USBマウスと同時に使用する」(右図)にチェックを入れ、その他の項目のチェックを外して下さい。

3)「OK」をクリックし、開いているウィンドウを閉じれば、フラットポイントと5ボタンキーボードを同時に使用可能になります。



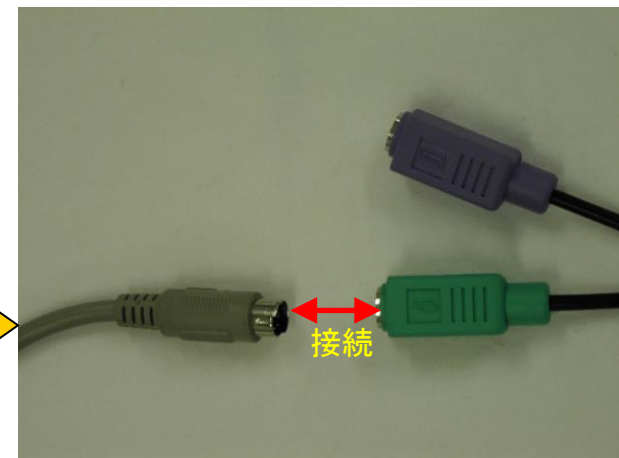
4. USBコネクタについて

添付の専用5ボタンキーボードは「P/S2」タイプのコネクタに対応しております。お手持ちのパソコンに「P/S2」コネクタ(丸いコネクタ)がない場合には同梱のUSBコネクタをお使い下さい。

尚、専用5ボタンキーボードはUSBコネクタの Maus 側(緑色)に接続して下さい。



拡大



5. 応用例 I ・マイク付ヘッドセットを2つ(訓練者用&ST用)使用する場合の接続方法

パソコン	使用ケーブル	周波数調整器	使用ケーブル等	その他の機器等
USB	USBケーブル(白)	USB		
		PHONE-OUT	ステレオアダプタ (PC-232S)	マイク付ヘッドセット x 2個
		AMP-OUT	振動子直結	振動子
LINE-IN	オーディオケーブル (黒)	LINE-OUT		
PHONE-OUT	オーディオケーブル (黒)	LINE-IN		
		AUX-IN		
		MIC1-IN	ヘッドセット直結 (マイクマーク)	マイク付ヘッドセット
		MIC2-IN	ヘッドセット直結 (マイクマーク)	マイク付ヘッドセット
		AC100V	電源コード(灰色)	コンセント

6. 応用例Ⅱ・マイク付ヘッドセットとスピーカーを使用する場合の接続方法

パソコン	使用ケーブル	周波数調整器	使用ケーブル等	その他の機器等
USB	USBケーブル(白)	USB		
		PHONE-OUT	ステレオアダプタ (PC-232S)	・マイク付ヘッドセット ・スピーカー
		AMP-OUT	振動子直結	振動子
LINE-IN	オーディオケーブル (黒)	LINE-OUT		
PHONE-OUT	オーディオケーブル (黒)	LINE-IN		
		AUX-IN		
		MIC1-IN	ヘッドセット直結 (マイクマーク)	マイク付ヘッドセット
		MIC2-IN		
		AC100V	電源コード(灰色)	コンセント

7. PC-232Sプラグアダプタの使用例

周波数調整器にはPHONE-OUTジャックが1つしかありませんので、次のような場合には別売りのプラグアダプタをご使用下さい。

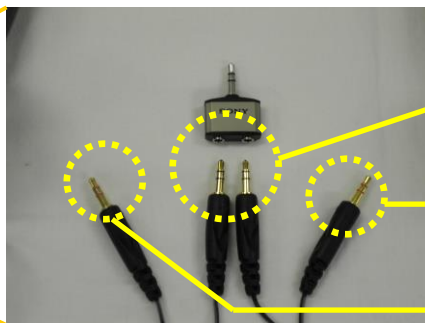
①マイク付ヘッドセットを2個(訓練者用+ST用)つなぎたい場合(応用例Ⅰ)

②マイク付ヘッドセットとスピーカーをつなぎたい場合(応用例Ⅱ)

*いずれの場合も周波数調整器の「PHONE-OUTジャック」に挿してご使用下さい。



応用例Ⅰ・マイク付ヘッドセットを2つ使用する場合の接続方法

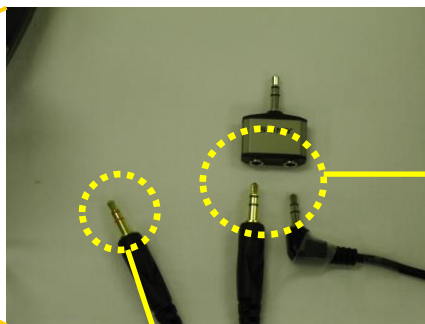
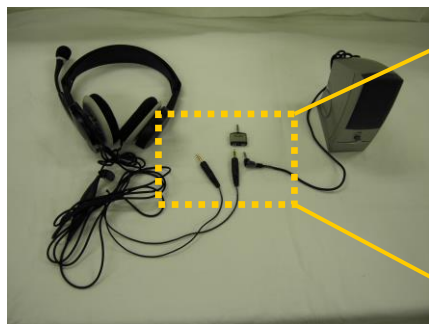


* ヘッドホンのマーク及びプラグ部の2本の黒色帯を目印に接続して下さい。

周波数調整器の『MIC1 IN』
『MIC2 IN』ジャックへ挿入

* マイクのマーク及びプラグ部の2本の朱色帯が目印です。

応用例Ⅱ・マイク付ヘッドセットとスピーカーを使用する場合の接続方法



* ヘッドセットはヘッドホンのマーク及びプラグ部の2本の黒色帯を目印に接続して下さい。

* アダプタの空いているジャックにスピーカーのケーブルを挿入して下さい。

* ヘッドセットのプラグについて詳細は10ページをご覧ください。

周波数調整器の『MIC1 IN』ジャックへ挿入

* マイクのマーク及びプラグ部の2本の朱色帯が目印です。

8. 周辺機器接続後の最適設定につて

下記の手順により、周波数調整器及びマイクのゲイン設定を行って下さい。

①[スタート] ⇒ [すべてのプログラム] ⇒ [周波数調整] ⇒ [ゲイン変更] の順にボタンをクリックして下さい。

②下図1のような画面が表示されますので、「ライン入力ゲイン(L)」および「マイク入力ゲイン(M)」を各々“8”程度に設定し、[OK]をクリックして下さい。(下図2参照)

※振動子の最大振幅(出力)とヘッドセットのマイクゲインはこの画面の設定で決まります。ゲインを上げすぎるとハウリングを起こしますのでご注意ください。



図1 デフォルト設定

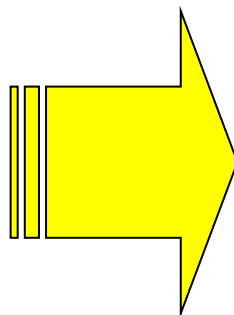


図2 最適設定

9. 音量調整の方法について

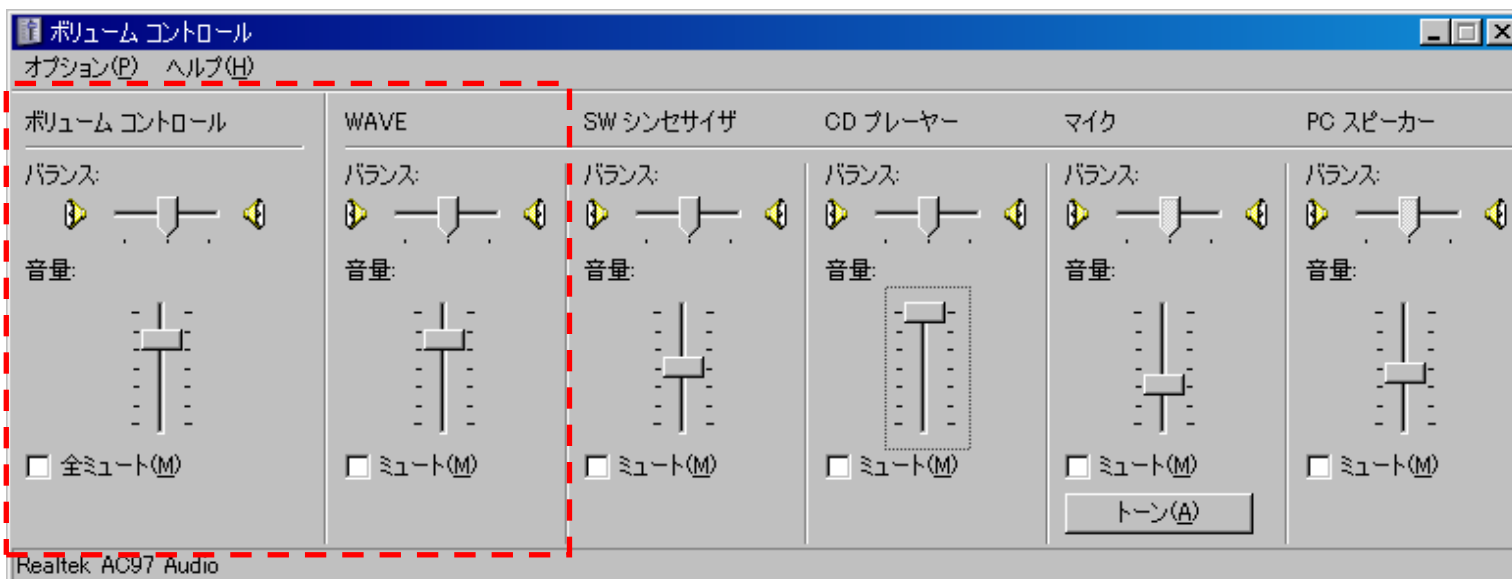
～～再生音量調整の最適な設定方法～～

1. PCから出力する音は出来るだけ大きくして下さい。
2. ヘッドセットの音量調整は、音を適切な音量に下げerためにお使い下さい。

①画面右下のスピーカーの絵をクリックするか、コントロールパネルから「サウンドとオーディオデバイス」を起動し、デバイス音量の詳細設定をクリックして下さい。下記「ボリュームコントロール」が開きます。

②左端の「ボリュームコントロール」及び「WAVE」を出来るだけ大きくして下さい。(振動子から聞こえる音が割れない範囲で最大にして下さい。)(下図の点線部分参照)

③ヘッドセット側の音量調整ダイヤルは最大の1/2以下を目安に、大きすぎる音を絞る目的のみお使い下さい。



～～音声日記の録音音量調整の最適な設定方法～～

1. PCへ出力される音は出来るだけ小さくして下さい。
2. しゃべる時は、マイクを口元に近づけて下さい。

①前項「再生音量調整」と同じ手順でボリュームコントロールの画面を表示させ、左上のオプションをクリックし、プロパティ画面を表示させて下さい。その中の「録音」をクリックし、次にOKボタンをクリックしますと、下記の画面が表示されます。(プロパティ画面で録音をクリックできない時は「ミキサーデバイス」を変更してお試し下さい。)

②「マイク」の音量(下図の点線部分)を小さめに設定します。(大きく設定しますと、呼吸音や、周囲の雑音が入り込んでしまい、録音データが聞きづらくなります。)

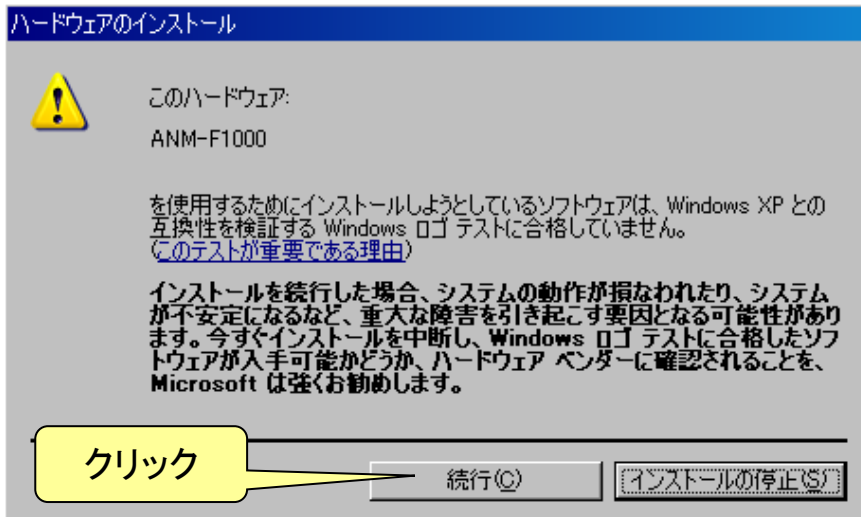
③製品に同梱のヘッドセットに添付のマイクは指向性が高くなっておりますので、話す時にはマイクを口元に近づけて下さい。より明瞭に録音されます。



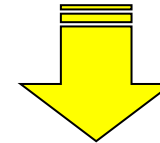
10.USBドライバ更新時のエラーについて

(別紙『手順説明書』7ページ以下の補足説明です)

※ここでは、USBドライバを更新する際にWindowsから発せられる各種エラーメッセージについての対応を説明しています。(実際にはエラーは発生していませんが、システム構造上、Windowsがエラーと認識してしまっています。)



①USBドライバの更新作業開始時(ドライバファイル選択直後に、左図のようなメッセージが表示されることがあります。



本ドライバの更新は、Windows2000および同XP上で実行する場合において、問題がないことを確認いたしております。安心して「続行」をクリックして下さい。

②USBドライバ更新作業終了後に下図1のようなメッセージが表示されることがあります。

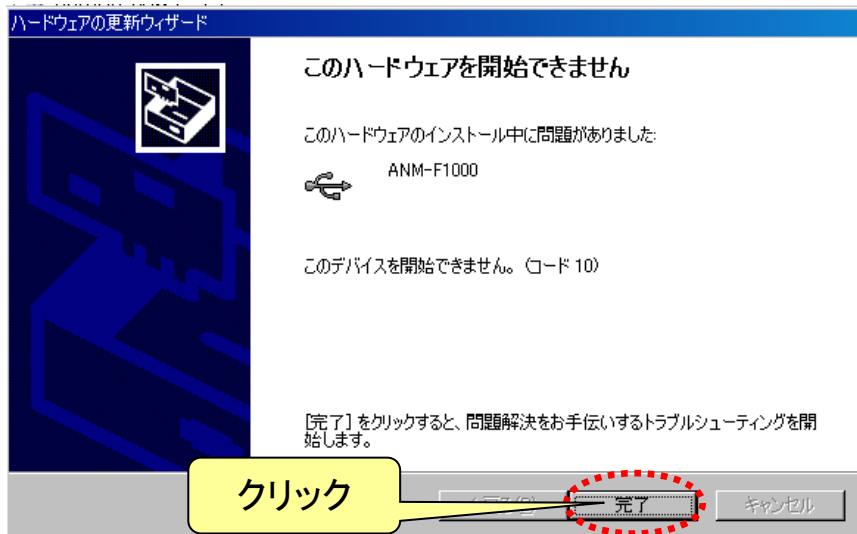
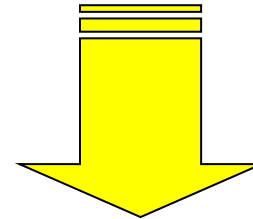


図1



実際にはUSBドライバの更新作業は完了しています。以下に示す手順に従って、USBドライバ更新を最後まで実行して下さい。

対応手順

手順①: 図1の画面で、「完了」をクリックします。

手順②: すると図2のような画面が表示されます。内容はドライバの再インストールを促すものですが、無視してウィンドウを閉じてください。(右上の×印をクリックして下さい。)

(以下次ページへつづく)

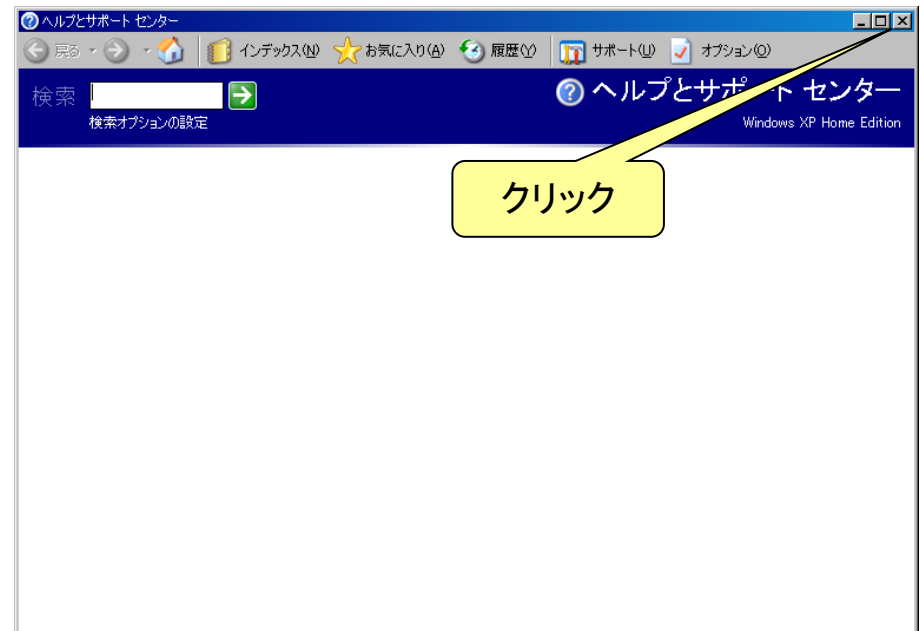


図2

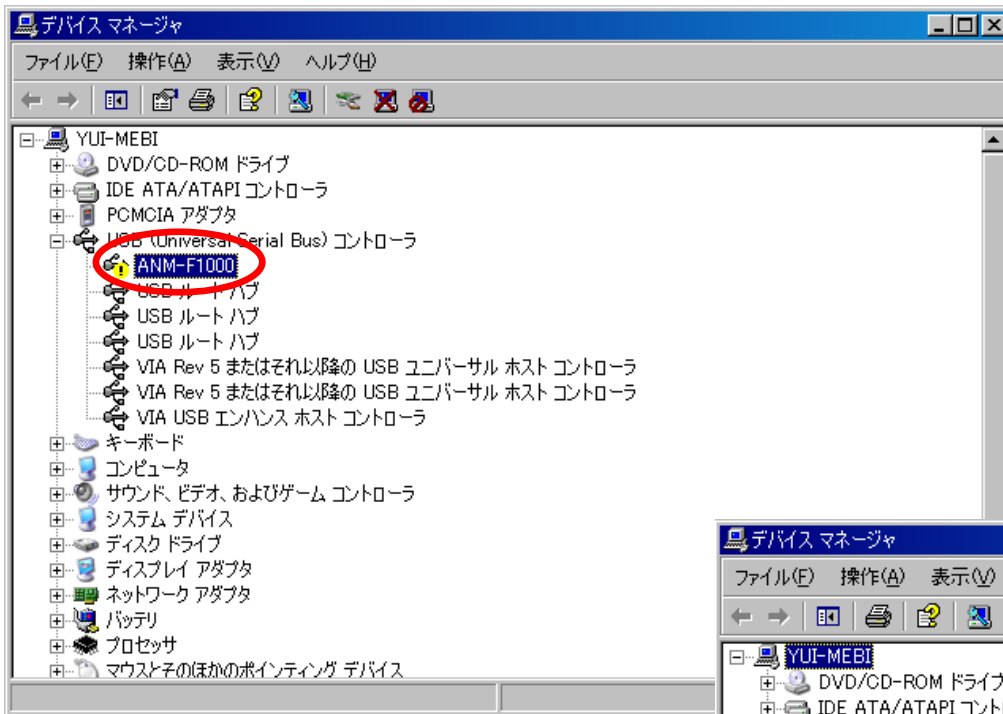


図3A

対応手順

(前ページのつづき)

手順③: デバイスマネージャに「ANM-F1000」が認識されています。但し、この段階では上図3Aのように黄色い「！」がついています。

手順④: 周波数調整器の電源を一度OFFにした後に、改めてONにしてください。(図4参照)

手順⑤: 右図3Bのように「！」が表示されなくなり、周波数調整器が使える状態になります。



図4

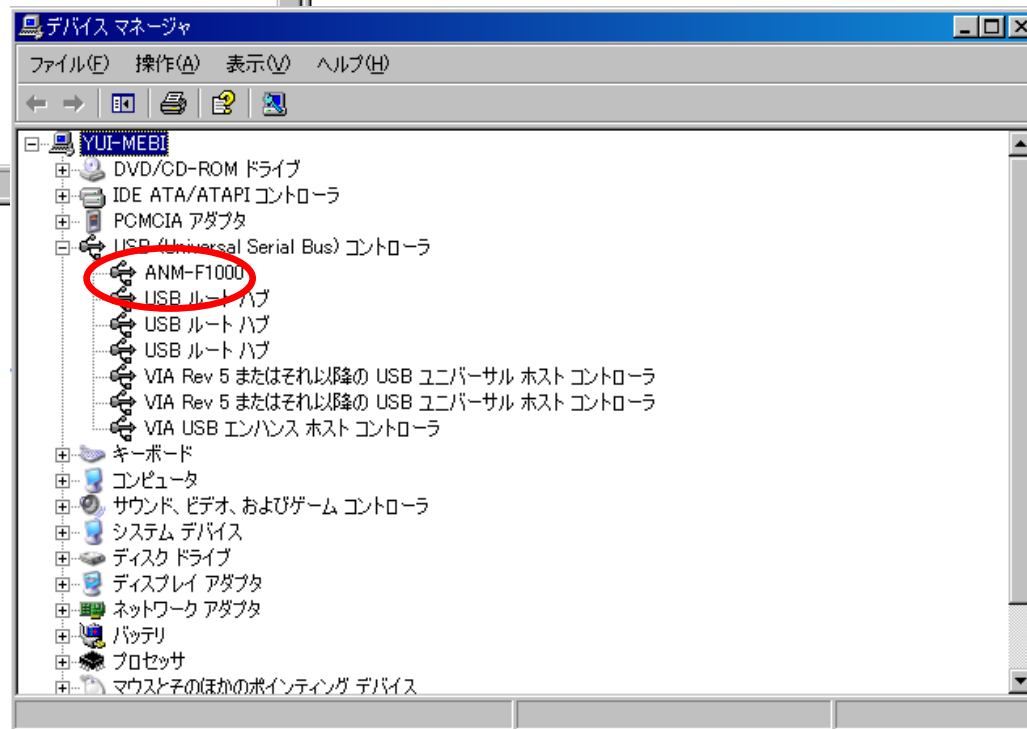


図3B

失語症リハビリテーション(言語訓練)支援システム『花鼓Ⅲ』

(2005年3月発売)

失語症リハビリテーション(言語訓練)支援システム『花鼓Ⅱ』

(2000年3月発売)

監修： 東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学科

企画・制作・販売： 株式会社アニモ

お問合せ先： **株式会社アニモ**

Tel. 045-663-8640

Fax. 045-663-8627

〒231-0015 横浜市中区尾上町2-27 大洋建設関内ビル4F

URL: <https://www.animo.co.jp/>